

第16号

平成28年6月発行

病院キャッチ
フレーズ

私達が守りたい
地域の笑顔と医療の心



秋田厚生連 能代厚生医療センター

地域医療 連携室だより

<基本理念>

わたしたちは、地域中核病院としてより安全で高度な医療を提供するとともに地域の皆様の健康増進と、より優れた医療者の育成に貢献しています。

<基本方針>

1. 地域の皆様に信頼され愛される病院づくりを推進します。
2. 医療の質を向上させ、特色ある病院の構築に取り組みます。
3. 心の豊かさにとりある医療の実践を目指します。



撮影 田中 富三男 (看護師)

▲世界遺産 白神山地 秋田県藤里町 峨瓏の滝 心地よい涼しい空気に包まれます



撮影 田中 富三男 (看護師)

▲秋田県三種町 釜谷浜 白く美しい風車群は壮観です



▲4月22日 病院前の桜が満開でした

新任医師の紹介

新年度がスタートして3か月。職場環境に少しずつ慣れてきたところで、新たな決意を語っていただきました。今後ともよろしくお願いたします。



外科
さとう けんじ
佐藤 慧先生
出身地：宮城県仙台市
出身大学：岩手医科大学医学部
2009年卒業
趣味：旅行・温泉・料理
能代山本深浦地区の地域の皆様により良い医療を提供できますように努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



小児科
なりた あゆこ
成田 鮎子先生
出身地：能代市
出身大学：秋田大学
趣味：旅行・ライブ鑑賞
生まれ故郷の能代に三度戻ってきました。能代とその周辺地域の子どもの健康を守っていきけるよう、精一杯努めたいと思います。よろしくお願いたします。



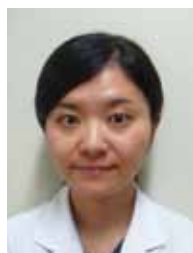
産婦人科
きとう まさひこ
木藤 正彦先生
出身地：秋田
出身大学：秋田大学
趣味：料理
これまで学んできたことを生かして、定番のものから、旬の食材までを盛り込んでおいしさの再発見をしていきたいと考えています。



循環器科
かまだ ななみ
鎌田 ななみ先生
出身地：秋田市
出身大学：秋田大学
趣味：読書
医師3年目で半年間この病院で働かせてもらい、数年ぶりに戻ってきました。またよろしくお願いたします。能代の医療に少しでも貢献できるようにがんばっていきます。



精神科
いしかわ はやひと
石川 勇仁先生
出身地：千葉県
出身大学：秋田大学
趣味：格闘技
若輩者で皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。



産婦人科
かまだ ゆりな
亀田 優里菜先生
出身地：盛岡市
出身大学：秋田大学
趣味：旅行
秋田赤十字病院より異動になりました。産婦人科の亀田です。卒後6年目になります。ずっと秋田市内の病院を回っていらしたので、地域の病院は初めてになります。よろしくお願いたします。



整形外科
さいとう ひかる
齋藤 光先生
出身地：山形県
出身大学：秋田大学
趣味：バスケットボール
整形外科医として地域の医療に貢献し、また自分自身も成長したいと思います。若輩者ですが、ひたむきに頑張りますのでよろしくお願致します。

研修医の紹介



すずき たかふみ
鈴木 隆史先生
出身地：福島県
出身大学：岩手医科大学
趣味：将棋・スノーボード
4月から能代で働かせていただいております。以前、秋田市で歯科医師として働いておりましたので、秋田県に住むのは2回目になります。能代では地域医療のために少しでも力になれば嬉しいです。一生懸命頑張りますので、みなさまよろしくお願致します。



おおはし まなぶ
大橋 真武先生
出身地：東京都
出身大学：秋田大学
趣味：野球・ダンス・AKB
野球はプロ野球から少年野球まで何でも好きです。ダンスは能代で練習できる場所を検討中です。推しメンは渡辺美優紀です。何かと未熟で皆様にはお手数をおかけすると思いますが、よろしくお願申し上げます。



あそう たけし
麻生 健先生
出身地：大分県
出身大学：九州大学
趣味：バドミントン

以前仙台に住んだことがあり、大分出身の私はこれより北には住めないと思っていたのですが、縁あってさらに冬の厳しい能代で研修させていただくことになりました。早く戦力になれるよう精進していきたいと思いません。よろしくお願ひ致します。



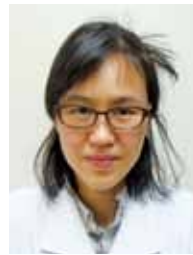
きくち だいち
菊池 大地先生
出身地：岩手県遠野市
出身大学：岩手医科大学
趣味：車・酒・釣り・ジョギング

能代は学生の頃から海や花火、釣りなどのために遊びに来ていました。お酒が好きですので、2年間で柳町周辺の居酒屋を制覇したいと考えています。見かけた際は、お気軽に声をかけてください。



ひさもと てるよし
久本 晃義先生
出身地：岡山県
出身大学：東京大学
趣味：旅行・登山など

岡山出身で、昨年度いらした研修医の藤原先生の紹介で能代に参りました。2年間の初期研修をこの地で送れることを非常に楽しみにしております。様々なことでお世話になります、よろしくお願ひいたします。



あさか なかりん先生
浅香 ナカリン先生
出身地：タイ、バンコク
出身大学：チュラロンコン大学
趣味：旅行

日本に憧れて8年前に秋田大学に留学し、そのまま日本に住むことになりました。今回、能代厚生医療センターで研修させていただけることとなり感謝しています。色々と勉強したいと思っています。外国人で言葉の問題もありますが頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。

プロジェクトの活動報告

情報発信プロジェクトチーム

当プロジェクトは“より良い病院づくり”を目標に、各プロジェクトの活動内容や院内での出来事、患者さんや現場での声などを伝えるほか、職員の頑張りに対し、お互いに称え合い、楽しく仕事をし、院内を活性化させるための活動を行っております。

●活動報告

①プロジェクト広報誌「Change」の発行

・より多くの職員に楽しみながら読んでもらえるために、記事内容を工夫しながら、年間6回のペースで発行しております。

②職員表彰

・ハートフルスタッフ賞（接客優秀職員）

患者さんや当院を利用している方々から「あの人いいね！」と思う職員に投票してもらい表彰しました。

・いつもありがとう賞

職員間で「今年お世話になったなあ」という人を選んで表彰しました。

③ホームページのリニューアル

・平成27年4月1日に「能代厚生医療センター」に病院名称が変更されることに併せ、トップページをはじめとし、より閲覧しやすいようにリニューアルを行いました。



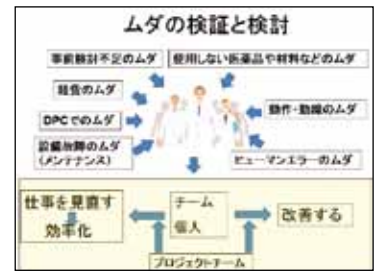
より良い医療を考えるプロジェクト

より良い医療を考えるプロジェクトは、生産性向上プロジェクトとコスト適正化プロジェクトが合併して新しいプロジェクトとして活動しております。

病院内の様々な無駄を検証・検討し効率的に業務を行えるようにすることを目標としております。

昨年度行った事としては、数年前から検討している物流の一元管理の一環として診療材料の定数管理と払い出し方法の変更をサポートさせて頂きました。結果として病棟での診療材料の在庫が以前と比較し減少する結果となりました。しかし、その後のラウンドから配送の問題、病棟在庫の保管方法等の問題が新たに見つかってきております。

また、施設整備に関しても施設整備検討委員会と共同で入院しやすい環境と職員が働きやすい環境を効率的に構築するよう検討しております。



病床管理プロジェクト

<目的>

当院は地域の中核病院として、一般病床、精神科病床、地域包括ケア病床を有しています。病床管理プロジェクトは、入院を必要とする患者さんをスムーズに受け入れをするための体制整備に取り組んでいます。そして、それぞれの病床機能に対応した効率的で安定した病床管理を行うことを目的に活動しています。

<活動内容>

毎月、医師・看護師・医事企画課職員等の他職種が集まり、各病床の稼働状況や適正な病床管理について話し合いをしています。話し合った内容については、関連会議や部門に情報配信し、病院全体で取り組んでいけるよう働きかけています。

最近の議題は「熱中症患者さんの対応」についてです。これから夏場に向けて、熱中症の患者さんが多くみられる時期となります。熱中症患者さんを円滑に受け入れできるように、体制の見直しやベッドコントロールを強化しているところです。

今後も、患者さんがいつでも安心して病院を受診できるよう、また、地域の皆様のニーズにお応えできるよう、メンバー一丸となって努めていきたいと思っております。



山組聖の会総会開催

5月18日当院大会議室において平成27年度総会が行なわれました。

原田トミ子会長の挨拶に続き、活動報告や意見交換が和やかなムードの中行なわれ、退会される石川鋭子様・大山圭子様・佐藤昭子様へ感謝状と花束が贈呈されました。



地域医療意見交換会開催

今後の地域医療における、連携の構築へ向け5月27日当院講堂にて地域のボランティア団体様と意見交換会を開催しました。当日は9団体25名の参加を頂き、当院の「地域とつながるプロジェクト」メンバーと「より良い健康生活を目指して」をテーマに話し合いを致しました。参加者からは、地域での人間関係が希薄となっている中で、ボランティア、行政、病院等地域全体で支える体制づくりが必要でないかとの意見が出されるなど、有意義な意見交換会となりました。



私とスポーツの関わりについて、現在は、勤務先の野球部に所属してはいますが、勤務や出張等の関係から試合に参加することは少なくなりました。という訳で、あまりスポーツに関する内容をお伝えできませんが、スポーツを通じ学び得た経験と日常業務との関連や、ここ数年で始めたジョギングについて述べたいと思います。

スポーツ歴は、中学・高校と野球部に、大学時代はラグビー部に属していました。いずれも仲間と共に汗（涙は？）を流したことが今は懐かしく思えます。高校の野球部時代は、実社会の縮小版のような厳しい縦社会を、大学ではラグビーで求められるチームプレーの重要性を学ぶことができたように思います。目標を共有し、役割分担を行いながら状況を判断し、プレーを行うことは、日常診療でも同様にみられます。昨年、ラグビーワールドカップが開催されました。日本代表の活躍は皆さんもご存じかと思います。強豪の南アフリカとの対戦において、試合終了間際の3点差で負けている状況下で、ペナルティーキックのチャンスがありました。ヘッドコーチはキックを指示（つまり同点を指示）しましたが、選手達は自らの判断でスクラムを選択し（勝ちに行く判断）、結果的に逆転のトライに繋がりました。日本の歴史を変える信念を持ち、行動に移した選手達のハートは、医療に携わるものとしても見習うべきことと強く感じています。

数年前より、春から秋までの期間（日が長い季節）の朝に、病院周囲（アリナス周辺）のジョギングを始めました。このコースにはたくさんのお木々が立ち並んでおり、春は新緑の始まりを、夏は多くの鳥のさえずりや、時にカブトムシと出会ったり、秋には紅葉など季節感を感じながら走ることができ、リフレッシュにつながっています。さすがにこれからラグビーを始めるつもりはありませんが、ワールドカップの余韻に浸りながら、何かにチャレンジしていきたいと思っています。



地域の開業医の紹介



加賀医院 加賀 義章 先生

旧山本組合総合病院循環器科に5年勤務した後、能代市川反町に内科・循環器科・呼吸器科を標榜して開業し今年で23年になりました。

組み合わせ病院といわれた古い山本組合総合病院が、平成元年8月に柳町から落合の立派な新病院に移転し、職員一丸となって懸命に仕事をしていた頃を懐かしく思い出します。

「地域全体で地域医療を支えよう」という国の考えの中で、日本各地で「地域医療連携」への取り組みが進められてきました。地域の基幹病院、診療所、介護療養施設などがそれぞれの長を生きし役割分担をすることがこれまで以上に必要となってきました。地域医療連携室を介した紹介受診と逆紹介受診の普及や地域医療連携パスを、スムーズに運用するための活動に期待が寄せられています。能代厚生医療センターにも地域医療連携室が立ち上げられ、成果を上げています。救急患者さんの受け入れ対応や紹介受診予約がスピーディーに行われるようになった結果、以前よりも能代厚生医療センターへの信頼が高まり、地域の患者さんに喜ばれています。特別養護老人ホームの嘱託医を任されている私にとってはお世話になる機会が多く、これからは益々頼りになる病院としてよろしく願います。また地域医療連携室主催で勉強会や病院職員の方々との懇親会などが企画されていますが、連携を深めていくためにも出来るだけ参加しています。出来るのであれば、地域医療連携室の受付時間の延長を望んでいるところですが、今後の更なる活動の充実を期待しています。



いつも温かく交流していただきありがとうございます。
先生の笑顔は“地域医療の支え”です。
これからもよろしくお願い申し上げます。

エントランスホールで癒しの環境づくり

2週間に1回、11:45～12:15の間、ピアノやバイオリンの生演奏を行なっております。待ち時間を少しでも和やかに過ごしていただくために取り組んでおります。



研修会のご案内

能代厚生医療センター いきいき応援セミナー

排尿管理について(仮)

平成28年
日時/ **10月13日(木) 18:00～**
場所/ 能代厚生医療センター 2階講堂

講演 東北労災病院 泌尿器科部長
浪間孝重 先生

参加費 **無料** ●研修会への参加方法は後程ご案内いたします。
主催・能代厚生医療センター 褥瘡対策室

平成27年度 地域医療連携に関する業務実務実績

日頃より地域医療連携室を御利用いただきありがとうございます。地域医療連携室の平成27年度実績報告をさせていただきます。紹介患者数・紹介率はここ数年は横ばいと中々伸びておりませんが、逆紹介は特に循環器内科・整形外科にてかかりつけ医への依頼が昨年・一昨年と比べて増加しており、病院全体でも増加傾向にあります。これもかかりつけ医様の御協力のおかげです、ありがとうございます。

①紹介患者総数	2,005件	紹介率19% ①÷②×100
②初診患者数	10,349件	
③逆紹介数	236件	逆紹介率29% ③÷②×100
④返書率	100%件	

地域医療連携室(再来患者等含む)	
①紹介患者数	4,281件
②連携室経由数	1,614件
③連携室予約率(②÷①×100)	38%
④連携室経由中当日連絡(一般・救急)	573件

五大がん地域連携バス患者数	
紹介元へ(紹介患者)	14件
紹介元以外へ(紹介患者)	5件
かかりつけへ(紹介無く当院受診等)	8件
その他(元々かかりつけ無し等)	10件
平成27年度新規	37件
運用中患者数(H23年～H27年度)	120件

高度医療機器の医療推進状況	
CT検査依頼	150件
MRI検査依頼	72件
Ri検査依頼	71件

【地域医療連携室担当者紹介】

室長	佐藤 毅
	(診療部長・整形外科)
課長補佐	菊地 真人
看護師	野呂 江津子
社会福祉士	進藤 好
事務	米森 登紀子
事務	山田 真理子

地域とつながるプロジェクトでは、連携室だよりの名称(愛称)を募集しています。

どんどんお寄せ下さい。

renkei@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp

連携室を通して受診予約くださると待ち時間が短縮できます。「安全にスピーディ」を心がけておりますので、できるだけご予約くださるようお願い申し上げます。

能代厚生医療センター 地域医療連携室

〒016-0014 能代市落合字上前田地内
TEL 0185-54-8893 FAX 0185-54-8894

<http://yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp>